

我々青年だから
出来ること

JC *Kitakyushu* TIMES 9&10

2014 September & October

一般社団法人北九州青年会議所 広報誌

9月度例会

国際例会 / グローバルディスカッション



第63回全国大会
松山大会

◆ KITAKYUSHU JC REPORT

第45回 IFP児童交換事業

到津の森 秋のちからまつり
収穫祭

Junior Chamber International Kitakyushu



新生北九州JC
～温故知新、そしてイノベーション～



9 9月度 国際例会

2014.9/18:30/Station Hotel Kokura

相互理解を深める国際交流をしよう

9月9日ステーションホテル小倉にて、9月度国際例会が開催されました。

例会開始前に行われた臨時総会では、次年度の理事候補者が発表されました。その後、新入会員バッジ授与式が行われ、5名の仲間が加わりました。

今回は国際例会の名にふさわしい内容の例会で、まずは日本JCグローバルネットワーク確立会議に副議長として出向している清永東誉君と少年少女国連大使の中学生2名から活動報告があり、世界中の様々な問題が告げられました。次に、国際アカデミーに出向していた川井基嗣君から、7月に行われた「JCI国際アカデミー in 半田」での活動報告があり、国際交流のすばらしさを感じました。

そしてメインの国際交流委員会によるグローバルディスカッションでは、北九州市在住の外国人6名をパネラーに、北九州市立大学山崎教授と北九州JCOBで市議会議員の吉田幸生先輩をコーディネーターに迎え、パネルディスカッションが行われました。事前に行った外国人への街頭インタビューや「外国人から見た北九州」という題材で出演者から出た様々な意見を聞き、日本との文化の違いや考え方の違いを感じました。

この例会を通して、一人でも多くの方が国際交流に興味を持ち、相互理解をした上で一歩踏み出した交流が実現されれば、北九州は真の多文化共生都市になれると思います。

< 国際交流委員会 副委員長 道村 信仁 >



9 9月度 新入会員紹介

9月度例会にてバッジ授与式が行われました
ご入会おめでとうございます

アカデミー第2委員会

秋葉 史壮君
Fumiaki Akiba

1. 1984/9/10
2. 田中徳将 / 秋吉

上田 信晃君
Tokiteru Ueda

1. 1983/3/4
2. 柚 / 壺山

中島 誠君
Makoto Nakashima

1. 1978/10/27
2. 澤田 / 郷田

林 智貴君
Tomotaka Hayashi

1. 1980/12/15
2. 和田 / 谷口泰正

村田 大君
Dai Murata

1. 1977/7/14
2. 山田忠弘 / 小嶋慶

* 1. 生年月日 / 2. 紹介者名



開会宣言：原宣仁君 セレモニー：肘間照明幹事 / 今泉仁志君 / 池内道広君



拡大委員会：田中俊員長 国際アカデミー報告：川井基嗣君 監事講評：小田剛監事 開会宣言：松田健作君



新入会員バッジ授与式 台北交流委員会：IFP報告

9月度通常総会



議長を務める児玉理事長 小森専務理事 総務委員会：橋本高宏君

👑 9月のおめでとうございます

例会最多出席委員会 広報戦略委員会 92%

11 11/10
November [Mon.]

11月度事業報告例会
● 例会 18:30～21:10
● 懇親会 21:30～
ステーションホテル小倉 4F

12 12/8
December [Mon.]

12月度卒業例会
● 例会 18:30～21:10
● 懇親会 21:30～
リーガロイヤルホテル小倉



9月度例会では、7月に国連本部（ニューヨーク）で少年少女国連大使の研修の報告、JCIが主催するGPS（グローバル・パートナーシップ・サミット）の設営協力を行いました。少年少女国連大使はニューヨークで1週間プログラム研修を受け、国連の会議場で5チームに分かれて発表を行いました。北九州からは、木村紗彩さん、川原麻鈴さんの2名が各チームリーダーとして、メンバーを牽引していました。各チーム発表後は、スタンディングオベーションが鳴りやまず、観衆をポジティブチェンジしたように感じ取れました。国際問題解決に向けた行動は、帰国してからも続き、少年少女国連大使30名が各地で、報告（首長表敬訪問）やUNMDGsのプログラムを行うことで直接8000名以上が認知できています。

JCI GPSは、全世界のメンバーが国連本部に集い、世界レベルでの問題や課題を共有し、解決に向けた取り組みを学ぶ機会となっています。そして、将来世界を牽引していく各国の若い世代が集結し、それぞれが得た経験や学びを改革の能動者として市民運動へと展開させていく事業としても、国際的に非常に高い評価を得ているサミットです。そのゲストスピーカーとして、北九州出身のNPO法人ロシナンテス理事長 川原尚行氏もいらっしゃいました。

事業報告1

一般社団法人北九州青年会議所が
8月度に活動した事業の報告です

第45回 IFP 児童交換事業

第45回IFP児童交換事業が8月17日から22日の日程で行われました。今年は北九州の子ども達11名が台北の各家庭にホームステイし、様々な体験をしました。また期間中はIFP45回記念式典が開催され、北九州JCのOB、現役メンバーも43名が参加し祝福しました。

最終日、子ども達は再会を誓い合い笑顔で空港を後にしました。子ども達はこの事業を通じて、台湾、そして世界に興味を持ったのではないかと思います。

< 台北交流委員会 副委員長 安部優治 >

大道 青空くんの 感想文をご紹介します！

僕は、台北に行っているいろんな人と知り合いました。そして、たくさん経験と文化や知識を学びました。受け入れ家庭の方もとても優しく楽しいことばかりでした。向こうについて、受け入れてくれる家庭のケビン、トミー、アポーと一緒に卓球とビリヤードをしました。ケビン達兄弟はビリヤードがとても上手でした。夕食は行ったお店にたまたま団長たちが来て、とてもにぎやかでした。料理も日本の中華料理とは違って本場っぽかったし、ふかひれスープがとてもおいしかったです。2日目は近所の公園でバスケットボールをしました。一対一で対戦したけど、身長も高く、僕はバスケットなのに全くありませんでした。その後、地下鉄で太鼓の練習場所までいきました。完璧に覚えられないままだったので少し不安でしたが、本当の太鼓で先生に教わりながら練習をして何とかできるようになりました。3日目の45周年の式典で練習した太鼓の本番も無事にでき、みんなで夕食を食べました。そこで台北の友達もたくさんできました。言葉は通じないけど、日本語の得意なナルトが通訳をしてくれたり、中国語翻訳アプリを使って会話をすることができ、とても楽しかったです。4日目は一日受け入れ家庭との時間だったのですが、スポーツ万能でイケメンのケビンが早朝からフィリピンに出国しました。トミーは学校で、お母さんとアポーと一緒に博物館に行きました。建物の造りや雰囲気がやはり日本とは違って、楽しかったです。その後台北101に行きました。そこ

出向者
File-001

私は、筆頭副議長として会議体の運営を務める一方で、『UNMDGs（国連ミレニアム開発目標）認知向上プログラム』の担当副議長として全国を40ヵ所以上飛び回りました。自主開催も入れれば、100ヵ所以上での開催になり、延べ6000名以上が受講したことになります。

UNMDGsの国内認知度が3.7%と依然低い水準でありますので、ほぼ全ての日本人がこの問題を知らないということになります。しかし、国際社会は、日本がリーダーとしてこの問題を牽引していくことを望んでいます。国際世論を味方につけることは、日本の国益につながりますので、まずは国民の認知を向上させ、問題解決に向けた運動をすることで、頼られる日本になると考えています。

本年は各地でこのプログラムを落とし込み、トレーナーを育成してきました。来年度以降も自主開催が行え、運動がさらに広がるよう、残りのプログラムも仲間と共に推進していきます。



日本JC グローバルネットワーク確立会議 副議長
北九州JC 国際交流室 副室長
清永 東誉

【日本JC グローバルネットワーク確立会議出向】清永東誉（副議長）/ 横溝又一 / 小野将義 / 川越和直 / 山本紗織（順不同）

Taipei Cultural Exchange Committee

台北交流委員会

2014/08/17-22



にはギネス最速エレベーターがあり89階まで、39秒で上がりました。ものすごいスピードで、耳が痛くなりました。が、そこから見る景色は、とてもきれいで、見たこともないような建物があったり、とても感動しました。5日目は朝からプールに入りました。そこに何人が友達もきて、みんなでボールやビニールの剣を使ったりして戦争ごっこして遊びました。その時も言葉は通じないけど、会話しているくらい気持ちが通じ合っていて、一番楽しかったです。夜は、送別会でした。式典の時は、初め緊張気味だったけど、みんなと仲良くなったので、今回はもっと楽しい時間が過ごせました。みんなの前で楽しかった事を発表したのは恥ずかしかったです。とうとう最終日。午前中は僕の大好きな、アニメ・ワンピース展に連れて行ってくれました。そこで、お母さんから土産を買ってくれました。そして、空港に向かいました。あつという間に5泊6日が過ぎ、お別れの時が来ました。お父さん、お母さん達がとても優しく僕らを迎え入れてくれて、いろんな所に連れて行ってくれたり、美味しいものをたくさん食べさせてくれたり、本当に感謝しています。ケビン達兄弟もとても楽しい時間が過ごせました。もっと言葉が通じれば、もっと思っていることが伝えられるのに...と思いました。そしたら涙がでてきました。僕はこの夏休み、団長を初めとする交流委員会のみんなや受け入れてくれた家族、両親のおかげで最高の思い出ができました。本当にありがとうございました。謝謝！

式典で子供たちが制作した花文字



公益社団法人日本青年会議所 第63回全国大会 松山大会

主催:公益社団法人日本青年会議所
主管:公益社団法人松山青年会議所

2014.10/9(木)▶12(日)

取り戻せ。日本の矜持を!
～「ことばのちから」が「たくましい国」日本へと導く～

10月9日～12日に愛媛県松山の地にて日本JC第63回全国大会が開催されました。

大会成功祈願、開会式・ウェルカムレセプションで大会はスタートし、日本JCの総会や様々なフォーラム、セミナーも開催され、大変有意義な時間を過ごす事ができました。また、11日の大懇親会において北九州JCは、小倉牛のサイコロステーキのブースを出店し、多くの人で行列ができ早期完売する事ができました。日本各地のJCメンバーや市民の皆様は北九州の魅力を発信し、私たち北九州JCメンバーは、北九州の魅力を再確認する事ができました。その後のLOMナイトでは、49年会の追いつきをテーマに卒業生とともに楽しいひとときを過ごしました。

最終日は、台風の心配はありましたが、寛仁親王妃信子殿下に御成りいただき、雄大な松山城をバックに「ことばのちから」を感じる素晴らしい大会式典が行われました。式典では、鈴木会頭よりメッセージが贈られ、2015年度会頭予定者の柴田剛介君へプレジデンシャルリースが伝達されました。そして、大会の鍵は八戸JCへと伝達されました。

卒業式の部では、5156名の卒業生を代表して日本JC顧問の古川大司君による卒業生代表スピーチが行われJC生活全ての想いを語っていただき、心に響くスピーチとともに思い出に残る素晴らしい卒業式は幕を閉じました。

最後に、全国大会運営会議の議長を務められた末松直前理事長を始め、同会議に出向した多くの北九州メンバーが様々な場面で活躍されていました。本当にお疲れ様でした。

＜事務局長 竹内陽平＞





松山JC
公式キャラクター
「まっとう大」

49年会の皆様 卒業おめでとうございます

MATSUYAMA 2014



卒業生
小金丸 数嘉
副理事長



卒業生
川本 壮一郎
広報戦略委員会 委員長

全国大会松山大会の卒業式。古川顧問のスピーチを聴きながら目をつぶった時に様々な思い出が蘇りました。私のJC生活は苦しかった思い出だらけです。全国大会誘致委員会の幹事職をいただいた年はまだロムメンバーの心がひとつになっていなかったこと、事業系の副委員長を仰せつかった年には委員長が休会、幹事が退会し委員会を取りまとめることになったこと。2012年、アカデミー委員長を務めた年には到津の森公園20周年事業の担当に加え、全国大会の開会式&ウェルカムレセプションと解団式の担当をさせていただきました。大会を終えた時に入会して初めて涙が溢れ出しました。全ての経験が今の自分です。北九州JC、本当にありがとう。



ランウェイを歩く卒業生を祝福☆

出向者
File-002



日本JC 全国大会運営会議 議長
北九州JC 直前理事長
末松 雅之

10月9日～12日の日程で開催されました第63回全国大会松山大会。四国という地域でありながら、全国各地から13000名を超える登録を頂き無事、盛会のうちに大会を終えることが出来ました。

2012年に開催された第61回全国大会大会北九州大会当時、すでに2年後の大会主管が決定していた松山JCには、私たちが大会構築を行うにあたり多大な協力を頂きました。また当時、日本JCを率いておられた第61代会頭井川直樹先輩も松山JC輩出であったことを考えると、本年このような形で私たち北九州JCが全国大会松山大会構築に関わることになった縁を感じずにはいられません。

さて、肝心の大会ですが、本年は4年ぶりとなる会員同士の「大懇親会」が帰って参りました。また、2009年の沖繩那覇大会以来となる宮様にも御成りいただくなど様々な面で変化を遂げておりますが、そのような中、ご当地松山の魅力を随所に感じて頂き、また参加頂いた方に楽しんでいただけた大会を目指して準備を進めて参りました。全国大会に参加頂いたLOMメンバーの皆さんにもこの大会を存分に楽しんで頂けたら幸いです。

結びとなりませんが本年、日本JC全国大会運営会議議長として出向するにあたり、全面的なバックアップのもと、LOMより送り出していただきましたことに心から感謝を申し上げて、一言御礼とさせていただきます。

【日本JC 全国大会運営会議出向】末松雅之(議長) / 横久裕文(運営幹事) / 田代力ホル / 桑島清太郎 / 壺山貴生 / 小嶋慶 / 齊藤光矢 / 原田茂樹 / 矢野大吾 / 古賀龍太 / 小西健一 / 林田直子 / 田中一徳 / 妻鹿一 / 山口順子 / 堀田康秀 (順不同)

事業報告2

一般社団法人北九州青年会議所が
9月10日に活動した事業の報告です



到津の森公園秋のちからまつり

収穫祭

9/28日

9月28日到津の森公園にて、「到津の森公園秋のちからまつり 収穫祭」が執り行われました。素晴らしい秋晴れの中、各ブースのイベントを無事に終えることができました。

北九州JCは1998年の到津遊園地閉園の危機後、市民が支える動物園として開園する際の運動から現在に至るまで、到津の森公園のサポートの一端を担っております。

アカデミー第2委員会において今期最大の事業の一つとも言えるこの収穫祭では、動物へのさつまいもの贈呈式、動物サポーター募集や募金活動はもちろんのこと、お子様に人気だった動物メイク、仮面ライダーショー、ゲストを迎えての動物講座、チャリティーバザー、グルメ屋台村など盛りだくさんのイベントが行われました。アカデミーメンバーの到津の森公園への見方は確実に変わりましたし、市民の方々にも私達の思いは伝わったと思います。事前の準備は到津の森公園が閉園後行わなければならない様々な仕事の合間をぬって行ったりと大変でしたが、メンバー内の絆も深まり、事業を楽しんで行えました。「楽しくなければアカデミーではない!」の今年のスローガンを全うでき、今後のJC運動へのいい経験になりました。これもJCメンバーや到津の森公園の職員の方々など多くの関係者のご協力あつてのことだと思います。本当にありがとうございました。

<アカデミー第2委員会 池田憲俊>



なりきり動物メイクコーナー



動物のエサ収穫祭

アカデミー第2委員会

Academy Committee no.2



itozu-zoo



写真撮影隊



おもしろ動物講座



未来のリーダー創造委員会

Next Generation Leaders Development Committee

2014/10/11



KDS2014 公式ホームページ

<http://kds2014.jimdo.com>

10月11日北九州市役所周辺にて、西日本最大級の環境イベントである北九州エコライフステージ2014にKDSブースを出展しました。

KDSブースでは、北九州市が抱えている竹害問題を市民の皆様を楽しみながら知っていただくため、竹あかりナイトで使用する竹あかりの製作体験をテーマとしました。中学生の積極的な声掛けもあり多くの来場者にご参加いただき、沢山の竹あかりを製作することができました。開催予定であった竹あかりナイトは台風の為中止となりましたが、彼らの想いは多くの人に届けることができました。

<未来のリーダー創造委員会 副委員長 森尾泰之>

第498回 じゃがいもゴルフコンペ



9月18日に第498回じゃがいもゴルフコンペが開催されました。OB22名、現役26名の参加を頂き、秋を感じる天候の中清々しくゴルフをプレイすることができ、田園直樹先輩が優勝されました。メンバー間の懇親はもとより先輩方との懇親も深めることが出来ました。来年の第500回大会に向けて盛り上がりつつありますので、次回皆様のご参加宜しくお願いします。

<じゃがいもクラブ 幹事 國政博文>

FUKUOKA コンファレンス2014



9月14日アクロス福岡にて、FUKUOKAコンファレンス2014が開催されました。

活気に満ち溢れた次世代に誇れる福岡の実現を目指す事を目的としたこの大会は、日本JC九州地区福岡ブロック協議会の運動を広く発信する場となり、北九州JCメンバーも多く参加しました。人間力大賞に選ばれた飯塚山笠フォトプロジェクトやセカンドチャンス活動の紹介など、今後のJC運動の参考となる話をたくさん聞くことができ、有意義な1日となりました。

<広報戦略委員会 谷口泰正>
日本JC九州地区福岡ブロック協議会 福岡の力発信委員会出向

出向者
File-003

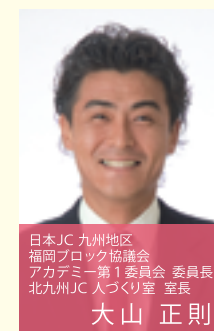
8月30日、31日に行われた第4回全体事業、「挑戦」チャレンジ精神と行動力をテーマに事業が開催され、106名のメンバーに参加していただきました。場所は八女市星野村で行われ、2012年に起きた九州北部豪雨災害で田畑が流され、復旧の目処が立たない茶畑の草取りや棚田の整備作業を行いました。2日間とも晴天に恵まれ、事故もなく無事に終えることができました。この2日間を通じて同じベクトルで共に行動し、一人では成し得ない目標を、アカデミーメンバー全員で成し遂げたことは、今後の人生においてチャレンジしていくための一歩を踏み出す勇気と揺るぎない友情が築けたと確信しています。

【日本JC九州地区 福岡ブロック協議会 アカデミー委員会出向】大山正則(委員長)/川俣龍太郎(副委員長)/谷岡建/中村芳伸/藤岡弓子/中野賢治/濱口泰明/福島直/藤井亮/矢野聖弥/藤井栄太(順不同)

出向者
File-004

福岡ブロックは21LOMからなり5エリアにわけられています。まずこの5エリアを回って出向者を募ることから一年が始まりました。次に、1月の福岡ブロック結団式を担当し、各LOMの絆を深めることができました。また、4月には日本JC本会の拡大委員長を迎えての拡大座談会を行い、各LOM拡大担当者の交流を図りました。8・9月は本年度で2回目となる福岡コンファレンスの広報活動を行い、今後は11月のブロック拡大表彰と年末の解団式を予定しています。このポジションは日本JCへの出向も兼任していて、LOMの活動に加えてダブルの出向活動になるので、つらい時もありましたが、LOMメンバーの支えもあって、なんとかここまで来ました。残り僅かな期間ですが、この貴重な経験をLOMと会社や家族に還元するために最後までしっかりと役割を全うしたいと考えています。最後まで応援宜しくお願い致します。

【日本JC九州地区 福岡ブロック協議会 福岡の力発信委員会出向】澤田朋秀(委員長)/榮隆志(副委員長)/横溝文一/野満泰介/川井基嗣/谷口泰正/田原勝哉/國政博文/小金丸数喜/井上知巳/田代カホル/浮城裕(順不同)



日本JC九州地区
福岡ブロック協議会
アカデミー第1委員会 委員長
北九州JC 人づくり室 室長
大山 正則



日本JC九州地区
福岡ブロック協議会 LOM支援
グループ福岡の力発信委員会 委員長
北九州JC 出向理事
澤田 朋秀

Schedule

国際交流委員会より
International Cultural Exchange Committee



2014.11/22-11/29
JCI世界会議
ドイツライフチ大会



2014.11/14-11/16
北九州JC
仁川富平JCへ公式訪問



北九州の魅力発信委員会
Committee to Promote the Charms of Kitakyushu

2014/08/16-17 2014/09/20-21

愛のキラキラ鉄灯り

8月16・17日、北九州イノベーションギャラリーにてブリキのキャンドルホルダー製作が行われ、市内外の小学生が一生懸命になってもものづくり体験を行いました。

9月20・21日は同会場にてツリーモニュメント製作が行われ、北九州のマイスターさんや、北九州市内の工業高等学校の生徒さんに御協力頂き製作を行いました。

最終章を迎える11月1日、愛のキラキラ鉄灯りツリーの点灯式を八幡東区の東田大通り公園にて行います。多くの方にこの鉄灯りを見て頂き、そして北九州の夜空を照らしたいと思います。

当日、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

< 北九州の魅力発信委員会 幹事 今田信之 >



11/1
ものづくり北九州
愛のキラキラ鉄灯り
まつり起業祭八幡2014
東田地区広場

主催：(一社)北九州青年会議所
共催：北九州イノベーションギャラリー
協力：まつり起業祭八幡実行委員会



■ 北九州市小倉北区上到津4-1-8 ■ TEL:093-651-1895
<http://www.itozu-zoo.jp>



到津の森のクリスマス

Christmas of Itozunomori

12/1日~25日 9:00~17:00



※火曜日は休園(12月23日は開園)

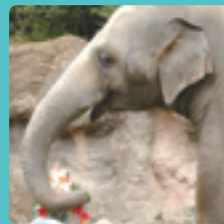
クリスマスの季節、園内にはクリスマス音楽が流れ、クリスマスリースなどのデコレーションがあちこちを彩ります。期間中の日曜日には、下記のイベントも開催予定です。

動物たちにクリスマスのプレゼント

ゾウ・チンパンジー・ヤギなどの動物にケーキなどをプレゼント!

クリスマスグッズ作り教室

自然素材を使ったリースなどを手作りします ※有料(別途要入園料)



Giravanz
KITAKYUSHU

スクール☆
ギラヴァンツ

今回はスクール☆ギラヴァンツのご紹介です

スクール☆ギラヴァンツとは、ギラヴァンツ北九州に所属する選手が北九州市内の小学校を訪問し、「夢を持つことの素晴らしさ」や「努力の大切さ」などを選手自身の体験を直接子供たちに伝え、子供たちの成長を見守りながらお手伝いする活動です。

2013年度は21校1624名の子供たちと交流を行いました。

9月30日、小倉南区の湯川小学校で行われたスクールでは、鈴木修人選手と川島大地選手の2名が講師を務めました。体育館で行われたゲームでは、5年生、6年生の生徒たちが2名の選手と一緒に体を動かしてコミュニケーションを取りながら楽しく運動を行いました。その後、選手たちからの講義が行われました。そこでは選手たちの生い立ちやサッカーを通じての様々な話があり、子供たちからも多くの質問が出ました。選手たちはその質問に的確に答え、子供たちの将来の参考になったのではないのでしょうか。ギラヴァンツ北九州は、これ以外にも、サッカー教室や地域清掃活動など、地域に根付いた活動を行い、北九州の皆様に愛され親しまれることを目指しています。

< 広報戦略委員会 委員長 川本壮一郎 >



Home Game Schedule

11/9(日) 16:00 vs 湘南ベルマーレ

会場：本城陸上競技場 北九州市八幡西区御開4-16-1

Information



● 広報戦略委員会では、JCタイムズ発行・ホームページの更新、Facebookは事務局との連携のものと最新情報を掲載！
広報ブログ「カワモンは見た!」も綴っております。
是非ご覧ください♪

facebook

KitakyushuJc

お願いします
いいね!



広報ブログ

<http://ameblo.jp/kita9jc2014/>

北九州JC



<http://www.kitakyushu-jc.jp>



新生北九州JC

～温故知新、そしてイノベーション～

一般社団法人北九州青年会議所

802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35-6F
1-35-6F, Furusenba-machi, Kokura-kita, Kitakyushu
TEL 093-531-7910 / FAX 093-551-0212
E-Mail: room@kitakyushu-jc.jp

facebook KitakyushuJc

www.kitakyushu-jc.jp